

県立三田祥雲館高等学校 令和5年度学校評価結果一覧表

教育目標【スクールミッション】「自律 創造 敬愛」の理念のもと、知・徳・体の調和のとれた人格を備え、新しい時代を担い、地域や世界に貢献できる人材を育成する。

<b>自覚</b>	自らの規範意識を高め、社会の一員として調和のとれた人格の形成
<b>創造</b>	主体的な学習活動を通じ、個性を發揮し新しい時代を創造する能力の育成
<b>敬愛</b>	自然を敬い、自他の命を尊重し、互いを愛し認め合う心の涵養
スクールポリシー	

【育成をめざす資質・能力に関する方針/グランドエーション・ポリシー】(GP)

- ① 社会の一員として調和のとれた人格を育む。
- ② 自ら学び、考え、行動できる能力を育成する。
- ③ グローバル教育及び理数教育を推進し、社会の変化に柔軟に対応し活躍できる人材を育成する。
- ④ 自分を認め、相手を認める思いやりの心を育み、命を大切に、人権を尊重する態度を養う。
- ⑤ 科学的リテラシーと課題解決能力の向上を目指し、社会貢献できる人材を育成する。

【教育課程の編成及び実施に関する方針/カリキュラム・ポリシー】(CP)

- ① 探究活動を中心とした幅広い視点から深い学びの実現を図る。
- ② 外部機関と連携した実践的・体験的な学びを展開し、各種コンテストや発表機会の活用推進を図る。
- ③ 充実した情報環境を活用した質の高い授業により、分かりやすく伝える授業を展開する。
- ④ 単位制ならではの多様な選択科目の提供を通じて、生徒個々に応じた学習機会の確保を進める。
- ⑤ ICT 機器を活用し、情報活用能力を高める学びを実現する。

(評価および点数化)

教員は行動指標の事例を参考にして実践目標に対する自己評価を総合的に判断して4件法で評価。

「十分できている=4点」「概ねできている=3点」「あまりできていない=2点」「できていない=1点」で評価を点数化。

保護者・生徒はアンケート項目について4件法で評価。「そう思う=4点」「ややそう思う=3点」「あまりそう思わない=2点」「そう思わない=1点」で点数化。

なお表中の数値は、上段が点数の平均値、下段が回答者のうち3点以上の回答をした人数の割合である。

教育目標	評価の観点	実践目標	行動指標の事例	スタンダードリテラシーの関連		教員自己評価	保護者・生徒アンケート項目	アンケート結果	
				GP	CP			R5	保護者
A.自律	授業力向上	主体的な学び・課題解決能力の向上という視点で授業を構築する	・生徒が主体となる授業展開を計画し、工夫された学習活動を単元や授業単位で実践している ・ICTの活用やユニバーサルデザインの考え方を活かすなど、わかりやすい授業をおこなっている	①② ③⑤	①②③ ④⑤	3.14 94%	祥雲館の授業は生徒が主体的に参加でき、ICTが活用されるなどわかりやすいものになっている	3.04 81%	2.78 70%
	特別活動	本校の教育目標をふまえ、生徒の主体的な取り組みを念頭に企画・運営する	・学校行事、年次行事では計画段階から生徒の参加を促し、生徒が主体的に取り組めるようすすめている ・特別活動に関するPDCAサイクルを意識し、生徒に行事の意義やねらいを理解させている	①② ③⑤	①②	3.02 84%	祥雲館の特別活動(学校行事やHR活動など)は生徒が主体的に参加でき、その意義やねらいがわかるものになっている	3.25 90%	3.13 86%
	部活動	部活動の意義を理解し、生徒の意欲や主体性を伸ばす	・「いきいき部活動」をふまえて活動をおこなっている ・生徒と積極的コミュニケーションを図り、生徒の意欲や主体性を伸ばす活動をおこなっている	①②④	—	3.12 88%	祥雲館の部活動は先生とコミュニケーションを図ることができ、生徒の意欲や主体性を伸ばすものになっている	3.05 78%	3.07 81%
	生徒指導	規範意識を高め、社会の一員として相応しい資質を育む	・生徒指導委員の発着をふまえ、生徒指導上の課題に対して「自ら考え、行動できる力」を育てる観点を持ってアプローチしている ・「学校生活の心得」の見直しなどに生徒が参画する機会を設定し、当事者意識や社会規範について主体的に考えさせている	①②④	—	3.08 88%	祥雲館の生徒指導・学校生活の心得は生徒の規範意識を高め、生徒に主体的に考えさせるものになっている	3.06 82%	2.79 70%
B.創造	探究活動・SSH	すべての生徒に対して探究活動を中心とした深い学びの実現を図る	・体系的な探究学習を企画、運営し、すべての生徒に発表の機会を設定している ・SSHでは生徒の科学的リテラシー・課題解決能力の向上につながる学習活動を計画的に運営している	②③⑤	①② ③⑤	3.36 92%	祥雲館の探究活動・SSH(グローバル/IT/21世紀型)は主体性や課題解決力を伸ばすものになっている	3.28 88%	3.14 84%
	国際理解・国際交流	異文化体験・異文化理解の機会を設け、グローバル教育を推進する	・授業、海外との交流、SSHの関連事業等を通して、自国文化への理解の深化も含めグローバル教育が適切に実施されている ・ALTの活用、ハロウィン行事等、異文化体験・理解の機会がすべての生徒に関わっている	②③	②	3.30 94%	祥雲館では国際交流や異文化理解のための学習が適切に実施されている	3.01 79%	3.04 78%
	地域・外部連携	地域・外部機関と連携し、実践的・体験的な学びを展開する	・高校生ふるさと貢献活性化事業やSSH等を通して、幼小中高はじめ行政、民間団体と連携し、活発な交流を実施している ・交通安全啓発や募金活動等、生徒会や生徒有志によるボランティア活動をおこなっている	①②	②	3.20 86%	祥雲館では授業や行事を通して、地域あるいは他校(幼小中特支)などの連携・交流が適切に実施されている	3.00 76%	2.85 68%
	進路ガイダンス	キャリアガイダンスと探究活動を有機的に連携させ、進路を拓く力を育てる	・進路指導と探究活動の連携のため、進路ガイダンス部、年次、関係職員と連携し、組織的に取り組んでいる ・きめ細かなガイダンスを通して目標設定を促し、生徒に高い目的意識と幅広い視野を身につけさせている	①②	④	3.28 92%	祥雲館では学習や進路に関する相談体制が整っており、適切な支援や情報発信がおこなわれている	3.02 81%	3.11 83%
C.敬愛	生徒理解	学びの主体である生徒の理解を深める	・生徒との丁寧なコミュニケーションを土台として、職員間での生徒情報の共有をすすめ、生徒理解を深めている ・日々の生徒観察や生徒アンケートを通して、多面的な生徒理解に努めている	①④	④	3.38 94%	祥雲館には学校生活や個人的な悩みについて相談のできる環境が整っている	2.79 67%	2.86 71%
	多様性	生徒の多様性を尊重し、互いを認め合う資質を育てる	・様々な背景を持つ生徒や新しい価値観に目を向け、多様化する生徒のあり方に配慮した姿勢をとっている ・生徒の多様性を尊重する姿勢を持ち、学校生活で生じる課題に誠実に対応している	①④	④	3.22 92%	祥雲館には多様な個性を尊重したり、生徒個々の学習ニーズに合わせた授業がおこなわれる環境が整っている	2.85 67%	2.76 65%
	人権	命を大切に、人権を尊重する態度を養う	・人権学習だけでなく、学校生活すべての場面で生徒の人権意識を高める働きかけをおこなっている ・教職員が本校のいじめ防止基本方針を理解し、いじめに対して組織的に対応する仕組みが整っている	①④	—	3.36 96%	祥雲館では人権を尊重する態度を養う学習・行事が適切に実施されている	3.00 81%	3.00 82%
	防災	保健安全の意識を養い、学校防災体制の充実を進める	・防災基本計画、防災マニュアルにおける自分の役割を理解し、いざという時に発揮できる体制を構築している ・生徒に災害時の向き合い方について考えさせたり、自らの命を守る行動を意欲させたりする機会をつくらせている	②④	—	3.08 82%	祥雲館では防災や安全に対する意識を高める学習・行事が適切に実施されている	2.91 75%	2.96 80%
D.学校運営・資質向上	単位制	単位制の特長を活かし、個別最適な学びの充実に向けた学習機会を保障する	・習熟度別授業、少人数教育等々きめ細かな指導をおこなう、基礎基本から発展まで幅広い学習ニーズに対応している ・興味関心や進路希望に合致する受講登録のために、講座のねらい、計画、評価等がわかりやすい講義要綱を作成している	③⑤	①④	3.04 80%	祥雲館では幅広い生徒の学習ニーズに応える授業や、授業選択のためのガイダンスが適切に実施されている	3.06 80%	3.01 79%
	家庭・地域との連携	保護者・地域への積極的・効果的な情報発信に努める	・保護者との連絡を密にし説明責任を果たすとともに、生徒情報も共有して信頼関係を築いている ・公開行事、HP、メール配信、各種通信等を通じ、保護者及び地域に向け本校の教育活動を効果的に発信している	—	—	3.32 96%	年次や進路などからの各通信、HPやGoogle classroom等での情報発信は、適切にわかりやすいものになっている	3.10 83%	3.15 85%
	コンプライアンス	コンプライアンスの意識を持って職務に専念する	・教務手帳や個人情報を含む書類等は所定のロッカーや引き出しに必ず収納している ・考査の答案用紙は定められた取扱要領に則って扱っている	—	—	3.20 88%			
	ウェルビーイングの向上・業務改善	豊かな人間性、倫理観の涵養に努める	・タイムマネジメント等業務改善を意識し、主体的に取り組んでいる ・専門性を高める研究、ボランティア、読書、スポーツ、旅行など、人間性を豊かにする時間を持つことができている	—	—	2.98 84%			